



みんなで守ろう岐阜市の自然



岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第8号 平成18年1月発行

はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



山県北野地区の保全活動にむけて（1月10日開催）

・雑木林の整備活動にむけて（三輪中学校の先生方への講習会）

雑木林の整備活動にむけて

山県北野地区の自然環境を保全にむけて、三輪中学校が地域の雑木林の整備から取り組みをはじめました。そこで、今回は雑木林の整備に必要な技術について、その初歩を先生方が体験し生徒への指導に活かしていくことになりました。

雑木林の整備活動を行う場所は、昨年10月に里山整備活動体験会を実施した岐阜ファミリーパークです。ここには、手入れされていない多くの広葉樹林や竹林があります。そのため、その整備には非常に多くの人々の協力も必要でしょうし、時間も必要だと思います。その中で、地元の中学校在続して整備に取り組んで行く活動は非常に大きな意味があると考えます。

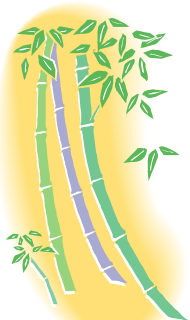
とはいうものの、活動をするにあたっては、何れともあれ「**安全管理**」が最重要課題です。どんなに有意義な活動であっても、楽しい活動であっても、その活動をする中で、怪我人が出るようではどうしようもありません。そこで、今回の「先生方との体験会」では、里山整備活動における安全管理を中心に実施しました。



竹林整備の方法について解説



伐採した竹を処理しています。



まず、12月に降った雪の被害を被った竹林を対象に、その整備の方法について体験・習得していききました。現在、全国的にも竹林が竹藪になるまで放置されるという問題が注目されています。岐阜市内の竹林においても同じような課題を抱えています。そのような中、次の点に注意して活動を行いました。



雪で折れた竹を処理！！

1. 雪の重みで曲がっている竹を伐採するときは、鋸で切り始めた時に、跳ね返りが発生します。その時に、伐採者並びにその周辺にいる人に当たらないよう十分注意する必要があります。
2. 竹が折り重なっているような複雑な状態の場合は、全体を見渡した上で重みのあまりかかっていない場所から順番に伐採し、徐々に圧力を下げながら整備する必要があります。
3. 伐採後の切株が尖った状態で残されていると怪我をする場合もあるため、切り口が平らになるように切り直す必要があります。
4. 春から秋にかけては、スズメバチ、マムシ、ムカデ等への注意が必要です。

この他にもそれぞれの状況にあわせた対応を学びながら、竹林整備のポイントについて体験していききました。

その後、広葉樹の整備について体験をしていききました。広葉樹の整備においても安全管理に主眼をおいて、次のような点に注意して活動を行いました。

1. 伐採する樹の回りに障害になる物や他人がいなければ確認します。
2. 斜面での上下で作業をしないようにします。
3. 斜面を歩くときは、落石等を落とさないように注意をします。もし落とした際は大声で下の人に知らせるようにします。

その他にも、多くの作業ポイントを学びながら作業を体験していききました。



雑木林整備にも挑戦します！！

今後も、安全管理さらには作業の楽しさを共有しながら、学校全体で取り組んでいけるように支援していききたいと思います。

おわりに

いよいよ、学校での取り組みが動き始めました。この取り組みが地域の環境を守る活動になっていくことを願います。2月24日には先生方を指導者として三輪中学校の生徒による里山整備活動が予定されています。今度は更により活動になればと思います！！

自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html